平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名　東邦化学工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4409　URL　http://www.toho-chem.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中崎　龍雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長　(氏名) 井上　豊　TEL 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	27,196	5.7	883	△27.4	583	△43.7	101	△82.2
23年3月期第3四半期	25,728	14.3	1,217	△23.8	1,034	△25.3	570	△29.2

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　△23百万円　(―%)　23年3月期第3四半期　436百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	4.75	―
23年3月期第3四半期	26.72	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	42,234	7,978	18.8
23年3月期	38,610	8,130	20.9

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　7,922百万円　23年3月期　8,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	6.00	6.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	3.5	1,120	△30.9	720	△46.2	120	△81.1	5.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
連結業績予想の修正については、本日(平成24年2月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	21,350,000 株	23年3月期	21,350,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	14,947 株	23年3月期	13,702 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	21,335,702 株	23年3月期3Q	21,336,954 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の我が国経済は、東日本大震災後の落ち込みから、生産設備の復旧とサプライチェーンの修復に伴い、生産活動は急ピッチで回復し、個人消費も自粛ムードの一巡後は持ち直しに転ずるなど、景気回復の動きがみられました。

しかし、第２四半期後半に入ると、欧州の債務問題の深刻化や新興国のインフレ高進に対する金融引締めなどから海外経済の減速が鮮明となり、これに急速な円高の進行も加わって輸出が再び弱含みとなるなど、景気回復のテンポは大幅に鈍化し、足元では停滞感が広がっています。

今後、復興需要による国内需要の拡大は期待できるものの、海外経済の動向は予断を許さず、当面、不透明な経営環境が続くことが予想されます。

当社グループにおきましては、鹿島工場（茨城県神栖市）が震災により一時操業中止となりましたが、５月中旬には復旧し、操業を再開いたしました。また、主要原材料をはじめとする深刻な原材料不足の事情が６月末まで続き、その間生産調整を余儀なくされましたが、第２四半期に入りほぼ正常化いたしました。しかし、景気減速下、製品需要の方は回復が遅れています。

このような経営環境下、売上面は、上半期の原材料不足の制約に加え需要の伸び悩みにより、石油樹脂や溶剤等が大幅な減収となるなど全般的に低調に推移いたしました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比14億67百万円、5.7％増収の271億96百万円となりました。

利益面は、原材料不足による生産調整の影響と売上の伸び悩みから、利益率が低下し、大幅な減益となりました。その結果、営業利益は、前年同期比３億33百万円減益の８億83百万円、経常利益は、前年同期比４億51百万円減益の５億83百万円となりました。

また、四半期純利益は、来期以降の税率変更に伴う繰延税金資産の取り崩しの影響もあり、前年同期比４億68百万円減益の１億１百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

（界面活性剤）

トイレタリー用界面活性剤は、第１四半期の原材料不足による生産調整が影響し、数量は大幅な減少となりましたが、原材料高に伴う売価の値上がりにより増収となりました。プラスチック用界面活性剤は、主力の帯電防止剤は比較的堅調だったものの海外向けが振るわず、減収となりました。土木建築用薬剤は、コンクリート用混和剤関連製品が順調に推移し、増収となりました。農薬助剤も、海外需要向けが伸長し増収となりました。紙パルプ用界面活性剤は、ユーザー工場の震災被害の影響により落ち込みましたが、その後徐々に回復しほぼ前年並みとなりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比７億40百万円、5.6％増収の139億68百万円となり、セグメント利益は、前年同期比１億93百万円減益の４億43百万円となりました。

（樹脂）

石油樹脂は、第２四半期以降は回復基調にあるものの、第１四半期の原材料不足による減産が影響し、減収となりました。樹脂エマルションは、鋼板用表面処理剤が振るわず、合成樹脂は、断熱フォーム用ウレタン樹脂等が低調で共に減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比２億83百万円、9.3％減収の27億61百万円となり、セグメント利益は、前年同期比１億４百万円減益の28百万円となりました。

（化成品）

合成ゴム・ＡＢＳ樹脂用ロジン系乳化重合剤は、海外向け販売を主因に大幅な増収となりました。石油添加剤は、脱ロウ助剤、潤滑油用等が好調で増収となりました。金属加工油剤は、切削油関連の需要回復により若干ながら増収に転じました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比11億50百万円、33.5％増収の45億82百万円となり、セグメント利益は、前年同期比85百万円増益の１億77百万円となりました。

（スペシャリティーケミカル）

溶剤は、ブレーキ液用溶剤やＩＴ関連事業向けの特殊溶剤などが低調に推移し、大幅な減収となりました。アクリレートも、第２四半期以降、ユーザーサイドの在庫調整の影響を受け、大きく落ち込みました。一方、電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、新素材の拡販等が寄与し、増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比１億30百万円、2.2%減収の58億21百万円となり、セグメント損失は、71百万円（前年同期はセグメント利益１億70百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は422億34百万円と前期末比36億23百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が25億97百万円の増加、固定資産が10億25百万円の増加です。

流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が５億22百万円の増加、受取手形及び売掛金が９億92百万円の増加、たな卸資産が11億57百万円の増加です。

固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が11億13百万円の増加、投資その他の資産が84百万円の減少です。

一方、負債合計は、342億55百万円と前期末比37億74百万円の増加となりました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金が15億２百万円の増加、長期借入金が11億14百万円の増加です。

純資産は、79億78百万円と前期末比１億51百万円の減少となりました。主な減少要因は、利益剰余金が配当金の支払と四半期純利益との差額の26百万円の減少、その他包括利益累計額が１億26百万円の減少です。

その結果、自己資本比率は18.8%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、先行きの経営環境が不透明ななか、一部の製品需要の回復が遅れ気味であること、また、法人税率変更による税効果会計の四半期純利益への影響などから、平成23年11月７日に公表しました平成24年３月期の連結業績予想の数値を修正しております。

なお、本連結業績予想の修正に関しましては、個別業績予想の修正も含め、別途、本日（平成24年２月７日）付「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しておりますのでご参照ください。

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,960	5,482
受取手形及び売掛金	9,212	10,204
たな卸資産	5,599	6,756
その他	599	525
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	20,367	22,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,036	6,981
機械装置及び運搬具（純額）	3,428	3,412
土地	3,319	3,319
建設仮勘定	1,200	1,670
その他（純額）	524	1,239
有形固定資産合計	15,508	16,622
無形固定資産	123	119
投資その他の資産	2,611	2,527
固定資産合計	18,243	19,268
資産合計	38,610	42,234

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,266	7,768
短期借入金	5,801	6,077
未払法人税等	176	42
賞与引当金	361	134
災害損失引当金	110	―
その他	2,545	3,558
流動負債合計	15,262	17,582
固定負債		
社債	4,800	4,200
長期借入金	7,132	8,246
退職給付引当金	2,941	2,887
役員退職慰労引当金	140	139
資産除去債務	54	55
その他	150	1,143
固定負債合計	15,218	16,673
負債合計	30,480	34,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	5,361	5,334
自己株式	△3	△3
株主資本合計	8,009	7,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165	115
為替換算調整勘定	△99	△175
その他の包括利益累計額合計	66	△59
少数株主持分	54	56
純資産合計	8,130	7,978
負債純資産合計	38,610	42,234

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	25,728	27,196
売上原価	21,479	23,252
売上総利益	4,249	3,943
販売費及び一般管理費	3,032	3,060
営業利益	1,217	883
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	25	33
物品売却益	17	21
その他	61	38
営業外収益合計	106	98
営業外費用		
支払利息	227	260
手形売却損	16	18
為替差損	15	82
その他	29	38
営業外費用合計	288	399
経常利益	1,034	583
特別利益		
投資有価証券売却益	－	2
特別利益合計	－	2
特別損失		
固定資産廃棄損	16	25
投資有価証券売却損	20	1
投資有価証券評価損	16	19
災害による損失	－	52
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15	－
特別損失合計	69	100
税金等調整前四半期純利益	965	485
法人税等	390	380
少数株主損益調整前四半期純利益	575	105
少数株主利益	4	3
四半期純利益	570	101

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	575	105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	△49
為替換算調整勘定	△51	△78
その他の包括利益合計	△138	△128
四半期包括利益	436	△23
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	436	△25
少数株主に係る四半期包括利益	△0	2

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	界面活性剤	樹脂	化成品	スペシャリティーケミカル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	13,227	3,045	3,431	5,952	25,657	71	25,728	―	25,728
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	136	136	△136	―
計	13,227	3,045	3,431	5,952	25,657	207	25,865	△136	25,728
セグメント利益	636	133	92	170	1,032	25	1,058	158	1,217

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析および物流倉庫業務等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額 158百万円には、棚卸資産の調整額 117百万円等が含まれております。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	界面活性剤	樹脂	化成品	スペシャリティーケミカル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	13,968	2,761	4,582	5,821	27,134	62	27,196	―	27,196
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	152	152	△152	―
計	13,968	2,761	4,582	5,821	27,134	214	27,348	△152	27,196
セグメント利益又は損失（△）	443	28	177	△71	578	36	614	268	883

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析および物流倉庫業務等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額 268百万円には、棚卸資産の調整額 184百万円等が含まれております。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。